

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
宮崎県中部河川とそれに面する海岸における土砂の鉱物学的類似性の比較 (研究期間：H27年～H29年)	宮崎大学 鈴木 祥広	B
<研究概要> <p>宮崎県は海岸侵食が顕在化し、河川からの土砂供給と海岸への輸送の情報が強く求められている。そこで、宮崎県中部の河川流域、およびこれらに面する海岸を対象とし、各地点の土砂の鉱物学的特性の類似性によって、類似土砂の分布マップを作成し、流域の土砂動態の実態を解明する。本研究の成果によって、流域で生じている土砂問題およびその箇所、因果関係、影響範囲など、流域全体を的確に診断することが可能となる。</p>		
<事後評価コメント> <p>河川から海岸に至る土砂の移動ルートを把握する上での有用な分析手法が提案され、研究目的を概ね達成する一定の成果が得られたと言える。今後、土砂収支の定量評価が可能な段階まで研究を発展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い